―2022もう一つの丹後ちりめん創業300年―　繋ぐ・紡ぐ・伝える

「すばらしい技術を絶やさぬようにつなげていってほしい」

11月13日、知遊館おいて、丹後ええもん工房、三絲の会（田茂井勇人代表）主催の「2022もう一つの丹後ちりめん創業300年 繋ぐ・紡ぐ・伝える」が、女優の名取裕子さんを講師に迎え開催されました。

開会にあたり、西脇隆俊京都府知事が「名取さんをお招きし、丹後で着物の魅力について語っていただくことは、産地にとっても大いに励みになる」とあいさつ。続く名取さんの講演では、「着物の魅力」と題して自身が松竹女優カレンダー撮影時に着用した丹後ちりめんの着物を中心に、特徴やこだわりをスライドを用いて解説。数々の着物を紹介し「丹後ちりめんの生地と西陣の技術は世界に誇れるもの」と名取さん。ときには笑いを交えて話されるなど、終始和やかな雰囲気で講演が進み、最後に「丹後の方々がすばらしい技術と素材を絶やさぬように、努力と世界に向けた発信をお願いしたいです」と締めくくられると、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。

丹後ちりめんの着物を着こなす名取さん

地元の高校生らと交流

同日の午前中には、宮津天橋高校の生徒ら15人が着付け教室に参加。参加した高校生は「振袖を着るのは七五三以来。着物になり、とても楽しかったです」と話していました。

着付け教室に参加した生徒たち

2022年は丹後ちりめんが加悦谷の地で創業してから300年

与謝野町を含む丹後地域は、1300年以上前から絹織物の産地としての歴史があります。古くは、739年に丹後国竹野郡から献上された「あしぎぬ」が、現在でも正倉院に残されています。

今から300年前の1722年。旧加悦・野田川地域で、加悦の木綿屋六右衛門が加悦の手米屋小右衛門と三河内の山本屋佐兵衛を京都西陣に送り出し、ちりめんの技術を持ち帰り「丹後ちりめん」を生み出すことに成功。3人は、時を同じく西陣で修行し独自のちりめん技術を会得した峰山の絹屋佐平治とともに、習得した技術を惜しみなく地域の人々に教えたことにより、ちりめんは瞬く間に丹後地域全体に広まり、住民自らの努力でその新たな織物技術を駆使して、活気と富をもたらしました。

現在では「次代へ、新たな挑戦」を合言葉に、織物事業者の皆さんは次の100年に向けて挑戦を続けています。

重要伝統的建造物群保存地区のちりめん街道内にある「縮緬発祥之地」の碑

まちの話題お届けします

●「与謝・滝・金屋 命の里」秋の大感謝祭

多くの来場者でにぎわう

宮津天橋高校宮津学舎吹奏楽部の演奏

与謝・滝・金屋命の里 秋の大感謝祭が11月13日、道の駅シルクのまちかや（よさの野菜の駅）で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

3年ぶりの開催となった大感謝祭は、与謝地区も加わりパワーアップ。恒例の千本づき（もちつき）から始まり、宮津天橋高校宮津学舎吹奏楽部や大道芸などによるステージ発表が会場を盛り上げました。また、新鮮野菜や海産物の販売、地元の食が味わえるバザーなどが出店し、ステージ発表ととも食事を楽しむ姿が見られ「このイベントを楽しみにしていた」との声が聞かれました。

● 宮津天橋高校加悦谷学舎

地域貢献活動として与謝野駅を清掃

与謝野駅の待合室を清掃する生徒たち

宮津天橋高校加悦谷学舎の「総合的な探究の時間（以下、「総探」）」の一環で、11月21日、与謝野駅の清掃活動が行われました。

加悦谷学舎の総探のテーマは「地域への恩返し（貢献）」。この日は「地域・学校・地域の子どもたちに貢献」の3つの活動のため、こども園や公共施設などを訪問。与謝野駅の清掃に訪れた3人の生徒は「与謝野町の中で自動車以外の玄関口は与謝野駅。きれいにすることで気持ちよく利用してほしい」との思いから清掃場所を決めたと話します。生徒たちは約1時間かけて待合室やトイレを中心に黙々と清掃していました。

● 丹後大学駅伝 第84回関西学生対抗駅伝競争大会

2人の町出身ランナーが駆け抜ける

第1区を走る立石さん（左から1番目、関係者提供）

関西地方の大学ナンバーワンを決める「第84回関西学生対抗駅伝競争大会」が、11月19日に開催されました。

大会には関西の大学22校が出場。京丹後市久美浜の浜公園をスタートし宮津市役所前を目指す8区間84.5㎞で争われました。与謝野町からは第1区に神戸学院大学3回生の立石陽斗さん（橋立中卒）、第7区に佛教大学1回生の平井迅さん（江陽中卒）が出場。立石さんは「1区として区間10位以内、トップと40秒差以内を目標に走りました。後半の5㎞を自己ベストで走れて自信になったことと、地元の大会でしっかりと役割を果たせたことがよかったです」と、また平井さんは「産まれ育った与謝野町内を走り、地元の方々の応援で実力以上の走りができました。来年以降もこの大学駅伝で活躍できるように成長していきたいです」と話してくれました。今後の活躍にご注目ください。

第7区を走る平井さん（右から2番目、本人提供）